

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《生麦ナーサリー》	種別：認可保育所
代表者氏名：原田佐知子	定員（利用人数）：60（51）名
所在地：横浜市鶴見区生麦1-7-1 rise place 横浜生麦1階	
TEL：045-508-3080	ホームページ： <a href="https://starchild.jp/nursery/namamugi">https://starchild.jp/nursery/namamugi</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：8名
専門職員	施設長：1名 保育士：15名
	栄養士：1名 調理員：2名
	事務員：1名
施設・設備 の概要	（居室数）6室 （設備等） 保育室・事務所・給食室・休憩 室・倉庫など

③理念・基本方針

- ・保育所の最大の利益である「養護」と「教育」を一体的に展開していくこと  
「子どもたちが安心して元気に毎日を過ごす」場を提供すること。
- ・子どもの「自発的な行動」を、実りある成長に結びつけるよう、刺激の与え方や、  
保育環境の構築に工夫をすること。
- ・豊かな感情表現とスキンシップ・コミュニケーションを大切にすること。
- ・positive sentence-否定語、禁止語は極力使わず、肯定形による前向きな言葉かけ  
を意識すること。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・京急生麦駅より、徒歩2分の好立地にあり、付近には公園も多く点在しています。
- ・外国籍の園児が多い為もあり、日本人の子どもたちが、いろいろな国の言葉で話  
しています。
- ・各部屋の仕切りがなくワンフロアのため、必然的に異年齢で交流しています。
- ・保護者との関係性が取れるよう努めています。
- ・職員はプロジェクトを通して、既存にないものを自分たちの力で作り出すよう努め  
ています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月2日（契約日）～ 2024年1月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

## ⑥総評

### ◇特長や今後期待される点

#### ◆子どもたちは、のびのびと園生活を楽しんでいます

子どもたちは保育士に見守られ、日々を安心して過ごしています。自分の好きな遊びを見つけ、友だちとのやり取りの中で友だち関係を育んでいます。各クラスに年間のテーマがあります。幼児クラスになると、テーマに沿って運動会の演目を考えたり、発表会の劇を考えたり、みんなで意見を出しあって、協力して作りあげていく楽しさや達成感が得られるように保育士は援助しています。オープンフロアのため、普段から異年齢で遊んだり、交流しており、年少児は自然と年長児にあこがれを持ち、教えてもらったり、年長児はリーダーシップを取ったり、年少児にやさしく過ごしています。保育士は文化の異なる子どもや保護者に言葉や習慣の違いを丁寧に伝えるよう心を砕き、また周りの子どもたちにも伝えていきます。そのため子どもたちはお互いに分け隔てなく自然体で過ごし、外国語の刺激を受けて会話の中に取り入れれたりしています。保育士は否定的な言葉を使わず、穏やかに話しかけ、表情も明るく楽しそうな様子が子どもたちにも伝わり、どの子どもも人懐こく、良い笑顔で過ごしています。

#### ◆職員は自分たちの園を自分たちで安全に豊かなものにしよう努めています

職員が全員で実際に歩いて作成した、写真入りの大きな「お散歩マップ」があります。そこには注意を要する箇所も記載されています。また保護者が休日に家族で行ってみようと思えるように、園からの道順も公園別にファイルして玄関横に置いています。靴箱の上には大きな園内の間取り図があり、注意すべき箇所を示してあり、ヒヤリハットを感じた時にいつでも書き足せるようになっており、職員はいつも目にしていきます。また、職員は「絵本」「植物」「DIY」のプロジェクトチームを作って、各チームで主体的に年間計画を立て活動しています。例えば、玄関に絵本を入れて紹介する透明のポケットを作り、本の内容を見出しにして張り付けたり、紙芝居の台を作成したり、観葉植物を育てたり、それぞれのチームで園内の環境を整えています。毎月の園内研修のテーマも職員から出た意見を基に行っており、積極的に取り組んでいます。このように、自分たちの園を自分たちで豊かなものにしようと、経験の浅い職員が中心となって様々な取組が積極的に進められています。

#### ◆これからを見据えて、しっかりした園の基盤を作っていくことが期待されます

園独自に作ったお散歩マニュアルなどは事務室の良く見えるところに掲示されていますが、他の多くのマニュアルは1冊のファイルにまとめられ、事務所に置いてあり、いつでも、すぐに確認できるようにはなっていません。今後はマニュアルや手順書を、職員全員で話し合い、誰もが同じように子どもそれぞれに寄り添い、園の目指す「より丁寧な保育」が実現するように園の内容に則した具体的な内容を記載したものに作り変えることが期待されます。そして、お互いの保育を見合ったり、自分の保育を振り返ったりする時間を作り、保育の質の向上に向けて実践できているか確認する仕組みを作ることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価は、日頃取り組んでいる保育内容及び運営全般について、外部からの視点で気づきを得る非常に有効な取り組みであると認識しています。

ここで明らかになった課題、成果、問題点など、職員及び法人全体で共有し、より一層質の高い保育サービスの実践のために、どんな取り組みが必要か、具体的なアクションにつなげていきたいと考えています。

保護者の皆様からいただいたアンケートにおいて、高評価をいただけたことに感謝し、また改善が必要なことについては、今後解決に努めてまいります。

そして、子どもたち・保護者・職員にとって保育園が心の基地となるよう、職員一同力を合わせていきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり